

㊦ 陸さんとひなさんは、博物館でシソチョウの化石のレプリカ（複製品）を観察した。その後、二人で観察したことをノートにまとめた。次は、二人がまとめたノートの内容について先生と交わした会話の一部である。1～5の問いに答えなさい。

ノート

シソチョウは約1億5千万年前の中生代の地層から発見された。

シソチョウのスケッチ

シソチョウの特徴

- ① 長い尾をもち、口に歯がある。
- ② 体全体が羽毛でおおわれている。
- ③ 前あしがつばさになっている。
- ④ 前あしの先につめがある。



シソチョウは、ハチュウ類と鳥類の両方の特徴をもつことから、生物の進化の証拠の一つであると考えられている。

先生：博物館はどうでしたか。

ひな：いろいろな種類の化石を見ることができて面白かったです。

先生：どんな化石がありましたか。

陸：地質年代ごとに、動物や植物の化石がありました。

ひな：中生代の化石では、の化石がありました。

先生：そうですね。化石を観察することでいろいろな発見ができます。

陸：シソチョウの化石のレプリカでも、観察すると生物の特徴がよくわかりました。

ひな：ノートのシソチョウの特徴のうちはハチュウ類の特徴であり、は鳥類の特徴になります。このことから、シソチョウはハチュウ類と鳥類の両方の特徴をもつことがわかります。

先生：よくまとめました。ハチュウ類と鳥類は体温の変化にも違いがありましたね。また、生物が進化をしたことを示す証拠は、現存する生物にもみられます。

陸：器官のことですね。博物館にも説明がありました。

先生：そのとおりです。現在と形やはたらきが違っていても、もとは同じ器官にあたると考えられるものです。例えば、ヒトのうでとがそうですね。器官の中には、ヘビの後ろあしのように、はたらきを失ってこん跡のみとなっているものもあります。

2 , に当てはまるものを、ノートのシソチョウの特徴①～④からそれぞれ二つずつ選び、その記号を書きなさい。

4 に当てはまる語句を書きなさい。

5 に当てはまるものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア チョウのはね イ コウモリのつばさ ウ タコのあし エ マグロの尾びれ

【答】2. ①・④ ②・③ 4. 相同 5. イ